

アクティブ・ラーニング & カリキュラム・マネジメント サミット2018

皆様のご指導を
よろしくお願いいたします。



すべての大槌の子どもたちに
「豊かな育ち」と「確かな学び」を実現する。
大槌町教育委員会

ひょうたん島のある町おおつち



震災津波前のひょうたん島



- ・リアス式海岸美
- ・面積 200.59km²
- ・人口 11,968人(2018/4/1)
- ・基幹産業・水産業

今日の説明内容

- 0 はじめに
- 1 H29年度の研究について
- 2 H29年度の研究成果・課題について
- 3 H30年度の計画について

大槌の小中一貫教育校

大槌学園



吉里吉里学園



施設一体型の校舎



施設分離型の校舎

義務教育学校

併設型小中一貫教育校

大槌には2つのタイプの
小中一貫校があるんだね

うにっちも大槌に来て
一緒に勉強しようよ!



本町が目指す小中一貫教育

大槌のすべての子どもたちに
「豊かな育ち」と「確かな学び」
を保障する



学校・家庭・地域で、
10年後、20年後の大槌の
復興・発展を担いうる
グローバル人材の育成



本町のグローバル人材育成の取組・1

1 英語の学びを一つの柱とした取組

- (1) 5・6年生の英語の専科の教員による外国語活動の指導
- (2) 6年生のJr英検の助成(全員受検)
- (3) 7年生以上の英語検定の助成
- (4) カタリバ臨学舎(放課後学びの場)での英検チャレンジ講座の開設
- (5) ALTを友好姉妹都市から招聘し町で雇用

英語の専科の教師の不断の授業改善

H26～H29年度 英語検定の合格者数

H28年度まで年3回まで無料実施、H29年度から年2回まで無料実施に変更

受検級	5級	4級	3級	準2級
H26	28人	7人	6人	0人
H27	214人	122人	37人	3人
H28	255人	124人	41人	4人
H29	102人	57人	41人	7人

本町のグローバル人材育成の取組・2

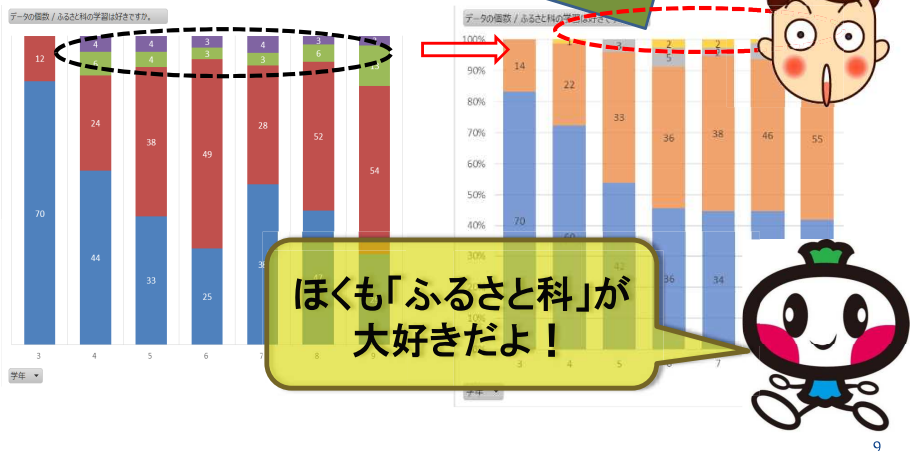
2 「ふるさと科」の学びを一つの柱とした取組

郷土を愛し、郷土に誇りを持つことができれば、他の文化も尊重し受け入れる人材に成長できる。



成果 大槌町児童生徒アンケート結果
Q:「ふるさと科」の学習は好きですか

肯定的な回答 H27年度 83%⇒H29年度 94%



本町のグローバル人材育成の取組・3

3「ふるさと科」と「外国語活動」を
リンクした取組

H28年度よりALTウィルさんを中心に実施



平成32年度
外国語活動3・4年生
外国語5・6年生実施

プラス
35時間



教務主任A先生
時間割を
どうしよう？

3年生担任B先生
英語が苦手！
どうしよう？



今日の説明内容

- 0 はじめに
- 1 H29年度の研究について
- 2 H29年度の研究成果・課題について
- 3 H30年度の計画について

H29・調査研究概要

平成30年度から外国語・外国語活動の先行実施するため、学校・家庭・地域、県教委、学識経験者等の幅広い人材を活用し、カリキュラムの作成とその成果の検証方法について研究する。



2

H29・各学園の調査研究概要

大槌学園

- ・5～6年生の50分授業の実施による効果的なカリキュラムの作成
- ・3～6年生の時間の設定のあり方

吉里吉里学園

- ・外国語活動の時間の設定のあり方
- ・外国語活動と「ふるさと科」をリンクした学びの推進

3

検討会議の日程

第1回 7月31日(月)13:15～ 中央公民館

テーマ:広げる

ねらい:目的の共有と取組の可能性の検討

第2回 9月5日(火)13:15～ 大槌学園

テーマ:絞る

ねらい:実現の可能性・実効性の検討

第3回 12月19日(火)13:15～ 中央公民館

テーマ:固める

ねらい:具体的実践内容の検討

H29 検討会議の講師の先生

1	吉富 芳正 先生	明星大学教育学部教授
2	木幡 敬史 先生	嘉悦大学ビジネス創造学部教授
3	梅本 龍多 先生	関西大学初等部教諭
4	佐々木 淳一 先生	岩手県教育委員会学校教育室・主任指導主事
5	山田 雄介 先生	NPOカタリバ大槌臨学舎代表



5

第1回検討会議(テーマ:広げる)

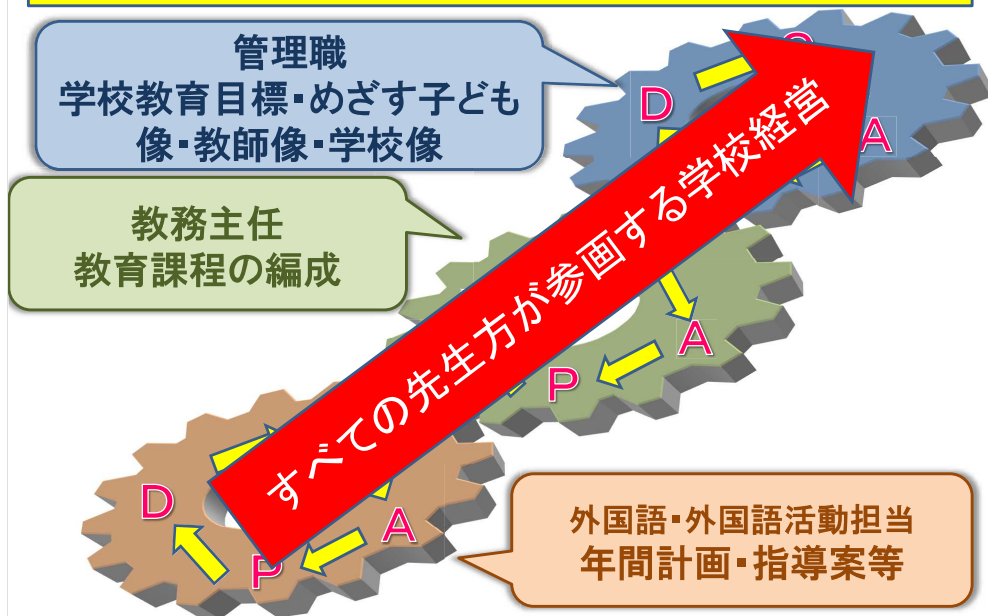
1. 教育活動全般に目を向け、広い視野で本事業を考える必要性について 吉富先生
2. 外国語活動の学びの可能性を広げる。
学習内容、教育課程など 梅本先生 佐々木先生
3. 本研究を進めるために、先生方から前向きな意見が出される。 研究討議から
4. 総括より
 - ・ねらいを明確にすること(英語を使って何が出来るか)
 - ・人的サポートが必要であること

大槌町教育委員会として

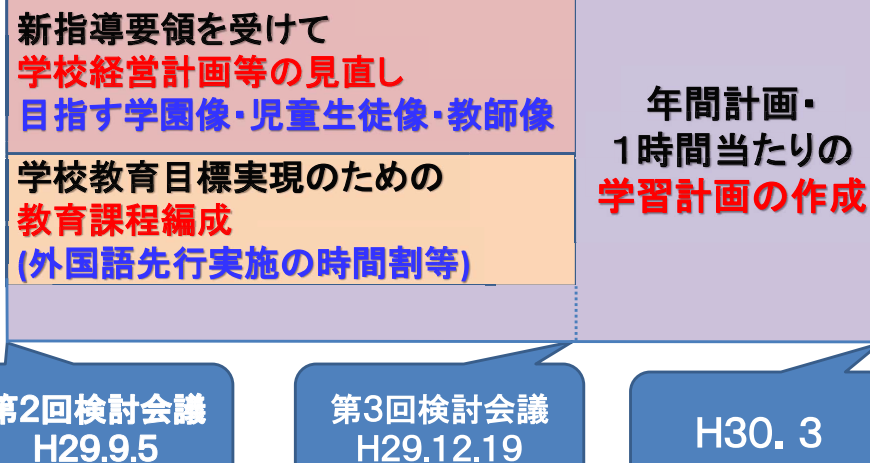
- 1 10年後、20年後の大槌の復興・発展を担うグローバル人材の育成
↓
子どもたちの学び保障
- 2 学校教育目標達成のための教育課程のカリキュラム・マネジメント
- 3 教師が安心して指導できる
⇒コーディネーターの配置(マンパワー)

7

学校教育目標達成のための外国語・外国語活動カリキュラム・マネジメントイメージ図



3月までのイメージ図



H30.4 先行実施開始

9

第2回検討会議(テーマ:絞る)

1. 子どもたちに合ったポイントを明確にする。
具体的に学校経営計画の関連性を検証
吉富先生
2. 県内の先進校の実践について 佐々木先生
3. ふるさと科とリンクした学びや新教材との関連
と単元計画について 梅本先生
4. 各学園より、具体的な教育課程の提示があった。
 - ・大槌学園 5, 6年 15分×3、50分×1
 - ・吉里吉里学園5, 6年 45分×2※図工、ふるさと科等を60分で実施

第3回検討会議(テーマ:固める)

1. 学校 吉富先生
2. 外国語活動の学びの可能性を広げる。
学習内容、教育課程など 梅本先生 佐々木先生
3. 本研究を進めるために、先生方から前向きな
意見が出される。 研究討議から
4. 総括より
 - ・ねらいを明確にすること(英語を使って何が出来るか)
 - ・人的サポートが必要であること

今日の説明内容

- 0 はじめに
- 1 H29年度の研究について
- 2 H29年度の研究成果・課題に
ついて
- 3 H30年度の計画について

平成29年度の成果

1. 推進体制の整備
2. 指導計画の整備
3. 外国語活動コーディネータ
4. 教科間の連携

平成29年度の成果

大槌学園

1単位時間**50分の授業を週1回**と
15分のモジュールを週3回実施

吉里吉里学園

1単位時間**45分の授業を週2回実施**
国語、図工、ふるさと科を週1回60分で実施

平成29年度の課題

- 1 人材の継続的な確保と指導者との連携
- 2 教育課程と指導計画について、実践し見直しを図るための体制の構築時間
- 3 検証のあり方について議論を深める

平成29年度の大槌学園の成果・課題



29年度国語と図工の授業

平成29年度の吉里吉里学園の成果・課題



教科間の連携
関西大学初等部の児童との交流

今日の説明内容

- 0 はじめに
- 1 H29年度の研究について
- 2 H29年度の研究成果・課題について
- 3 H30年度の計画について**

平成30年度の取組

1. カリキュラムと時間設定の検証と改善
2. 教師の多忙感の解消について
3. 本取組の評価の検証について
4. 「ふるさと科」と外国語活動をリンクした学びの充実

H30 検討会議の講師の先生

1	妹尾 昌俊 先生	教育研究家 学校業務改善アドバイザー(文部科学省委嘱)
2	木幡 敬史 先生	嘉悦大学ビジネス創造学部教授
3	梅本 龍多 先生	関西大学初等部教諭
4	佐々木 淳一 先生	岩手県教育委員会学校教育室・主任指導主事
5	金森 先生	NPOカタリバ大槌臨学舎代表

平成
30年

小さいまちのでっかい発信!
小中一貫教育全国サミット
in **おおつち**

11月9日(金) ~ 10日(土)

『震災からの復興』『大槌の小中一貫教育』『大槌の魅力』を
全国の皆さんに発信し、これまでのご支援に感謝の気持ちを伝えます。